

和歌山病院での実習を終えて



稲田 薫

今回、和歌山県立医科大学呼吸器内科臨床実習のうち2日間の間、和歌山病院にお世話になりました。

和歌山病院では、結核やX線の読み方について詳しく教えていただきました。今までの講義の中で抱いていた結核のイメージはあまり良くないものでしたが、実際に結核病棟を見学したり、患者さんに会ったりすることで必要な対応をすれば大丈夫なことや、過度な恐れはいらないということを改めて学ぶことができました。

X線については、教科書だけではわからない考え方、実際に臨床で使える知識などをいろいろ教えていただきました。学生に対して教えるだけじゃなくて、考えさせる講義をしていただき、大変多くのことを得ることができました。ここで得た経験をこれからの学生生活や医師になってからも活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、お忙しいにも関わらず貴重なお時間を割いていただき、南方先生をはじめ先生方、スタッフの皆様に深く御礼申し上げます。